

京都法教育推進プロジェクト実施結果(10月～12月分)

実施計画: 通年の法教育実践研究事業 等

	実施日	対象者	出席人数	実施の内容
1	H23.10.14	嵯峨野高校1年生 (法学ラボ受講者20人)	20人	模擬裁判指導(2) 事案・法令の学習 (指導:小町崇幸弁護士)
2	H23.10.21	嵯峨野高校1年生 (法学ラボ受講者20人)	20人	模擬裁判指導(3) 法令の学習、弁論の準備 (指導:中畑真哉弁護士)
3	H23.10.24	京都御池中学校 教員 弁護士 中学3年生	30人	裁判員制度に関する授業実践
4	H23.10.25	御池中学校	1クラス (約30人)	刑事裁判について、簡単なロールプレイングを行いつつ、制度や考え方について教員と弁護士との共同授業
5	H23.10.26	御池中学校	2クラス (各30人程)	刑事裁判について、簡単なロールプレイングを行いつつ、制度や考え方について教員と弁護士との共同授業
6	H23.10.27	紫竹小学校 4年生	25人	学級活動(一人一人が役立っていることを実感しながら、みんなが輝く楽しいクラスにするための係の工夫について考える)
7	H23.10.28	嵯峨野高校1年生 (法学ラボ受講者20人)	20人	模擬裁判指導(4) 弁論の準備 (指導:嵯峨野高校教員)
8	H23.10.28	御池中学校	1クラス (約30人)	刑事裁判について、簡単なロールプレイングを行いつつ、制度や考え方について教員と弁護士との共同授業
9	H23.10.31	御池中学校	2クラス (各30人程)	刑事裁判について、簡単なロールプレイングを行いつつ、制度や考え方について教員と弁護士との共同授業
10	H23.11.1	御池中学校(支部研究会)	1クラス (約30人)	刑事裁判について、簡単なロールプレイングを行いつつ、制度や考え方について教員と弁護士との共同授業

11	H23.11.4	嵯峨野高校1年生 (法学ラボ受講者20人)	19人	模擬裁判指導(5) 第1回弁論 (指導:竹中芳晴・北村幸裕弁護士)
12	H23.11.4	御池中学校	3クラス (各30人程)	刑事裁判について、簡単なロール プレイングを行いつつ、制度や考え 方について教員と弁護士との共同 授業
13	H23.11.10	御池中学校	1クラス (約30人)	刑事裁判について、簡単なロール プレイングを行いつつ、制度や考え 方について教員と弁護士との共同 授業
14	H23.11.10	御池中学校	1クラス (約30人)	刑事裁判について、簡単なロール プレイングを行いつつ、制度や考え 方について教員と弁護士との共同 授業
15	H23.11.11	嵯峨野高校1年生 (法学ラボ受講者20人)	20人	模擬裁判指導(6) 弁論の準備 (指導:小町崇幸・中畑真哉弁護士)
16	H23.11.11	御池中学校	2クラス (各30人程)	刑事裁判について、簡単なロール プレイングを行いつつ、制度や考え 方について教員と弁護士との共同 授業
17	H23.11.12	御池中学校(研究発表)	1クラス (約30人)	刑事裁判について、簡単なロール プレイングを行いつつ、制度や考え 方について教員と弁護士との共同 授業
18	H23.11.16	紫竹小学校 6年生	35人	特別授業(家庭ごみの収集場所の 設定にあたり、地域のそれぞれの 立場の利害を克服するために、公 平な負担を担い合うことの大切さを 理解し、ルール作りで解決してい こうとする)
19	H23.11.18	嵯峨野高校1年生 (法学ラボ受講者20人)	20人	模擬裁判指導(7) 第2回弁論 (監修:京都大学笠井正俊教授) (指導:竹中芳晴・中畑真哉弁護士)
20	H23.11.25	嵯峨野高校1年生 (法学ラボ受講者20人)	19人	模擬裁判指導(8) 判決 (指導:小町崇幸・北村幸裕弁護士)
21	H23.11.28	紫竹小学校 5年生	25人	総合的な学習の時間(自分の考え を相手に伝わるようにきちんと伝え たり、自分とは異なる考えを違う立 場の意見として受け入れたりしな がら、自分たちが考えた環境を守 るアイデアを効果的に発信する方 法を考える)

22	H23.12.9	嵯峨野高校1年生 (法学ラボ受講者20人)	20人	模擬裁判指導(9) 振り返り (指導:嵯峨野高校教員)
23	H23.12.16	紫竹小学校 1年生	25人	生活科(家族の「にこにこ」を調べて、分かったことや思ったことをしっかりと伝え合い、家族の「にこにこ」には自分の果たす役割が関係していることに気づく)
24	H23.12.8	京都御池中学校 教員 弁護士	10人	授業ふり返りと消費生活・雇用に関する授業づくり